

協働パイロット事業（H26）企画提案書

団体名：おケイコフェスタ実行委員会

1. 事業の名称

こどものクリエイティブ体験ワークショップ事業

2. 事業方針（市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえてください）

静岡市はスポーツの取り組みは盛んで、スポーツ少年団が多く存在し、地域が一体となったスポーツによる青少年育成への取り組みは、小学生、中高、大学、社会人までピラミッド形の育成の仕組みが確立されています。同じように、文化系の青少年育成の取り組みができないものかと思い、この協働事業に応募いたしました。

文化、芸術、デザイン、ものづくりの分野で、子ども達を育成し、将来、静岡市出身のクリエイターとして育てていきます。キッズクリエイターを養成する取り組みを、静岡市から全国に発信していきます。

誰でも気軽に楽しめるカルチャーから、地域産業を活性化させるための“デザイン”や“ものづくり”が、静岡市のアート・クリエイティブや、文化、コンテンツ産業を盛り上げて行くきっかけになればと思います。

「静岡市こどもクリエイティブタウン ま・あ・る」の仕事体験やものづくり体験を通じて、自主性や創造性を育み、子どもたちや地域と「ともに創り、育み、育つ」事業が、将来の地域のクリエイティブ産業の発展に繋がっていくよう事業運営いたします。

（事業背景）※今後の展望

体育の授業が多く、スポーツが得意な子が注目される傾向があったが近年は、個性を伸ばす教育に力か注がれてきた。

↓

地域ではスポーツ少年団など相変わらずスポーツの取り組みが盛んであるが、

ものづくりやデザイン、工芸美術の分野は子ども達が定期的に作品づくりに取り組んだり、学べる環境が整っていない。

↓

ワークショップを定期開催し、クリエイティブ分野の人材が育成できる環境を整えていく。

↓

ワークショップ（仕事体験やものづくり体験）を通じて人材育成し、産業の発展につなげていく。

団体名：おケイコフェスタ実行委員会

3. 協働にあたって提案団体が果たす役割及び行政に望むこと（市の役割）

静岡市にはクリエイター支援センターと、こどもクリエイティブタウン“ま・あ・る”という2つの施設があるので、互いに協力して「クリエイティブ産業とは何か？」を知ってもらうワークショップを開催し市民の意識の底上げすると共に、こども～青少年には地元で活躍するクリエイターの存在を知ってもらうことで、静岡から発信するクリエイティブ産業の担い手になってもらえるように啓蒙していく。

◎クリエイターの仕事をこども達に紹介、体験する「出張“まある”」として

静岡市クリエイター支援センターにて こどもデザイン教室 を開催。

◎デザインや芸術の仕事や分野に進みたい方や広く市民を対象に、子どもから大人まで、親子で参加できるクリエイティブ体験ワークショップを開催。クリエイティブ産業を訴求する。

団体名：おケイコフェスタ実行委員会

4. 成果目標（できる限り具体的に表現してください）

◎「クリエイター支援センター」の来場者増加、活動の認知度アップ

一般の方で知らない方も多いので、こどもデザイン教室「出張“まある”」を開催することで周知に務める。

◎クリエイターが支援センターは 2017 年度には施設を移転するので、その後、施設のインキュベーション

機能は支援室の形態を維持して行くか未定である。入居クリエイターがデザインや工芸関連のワークショップ（教室）を継続開催していけば、市民にも広くクリエイティブに触れていただけるようになり、支援室の形態が変化した際には、商店街の空き店舗を利用する等、クリエイターの教室兼アトリエ継続に繋げていくことができる。

◎「クリエイティブタウンま・あ・る」の協力企業を増やす。

※特にアート・クリエイティブ系の職業体験協力企業を増やす

◎「クリエイティブタウンま・あ・る」の認知度アップ、来場者数増加 新規こども市民登録 20 名
こどもデザイン教室の際に「クリエイティブタウンま・あ・る」の PR を行い、現在、多数を占める清水区以外の、葵区、駿河区からの来場者を増やす。

※「ま・あ・る」の来場者数増加 新規こども市民登録 20 名

団体名：おケイコフェスタ実行委員会

5. 事業計画

◎小学生を対象に、こどもデザイン教室（ワークショップ）を開催する。

募集チラシを制作し、小学校に配布 2,000 枚

◎こどもデザイン教室（ワークショップ）の内容

※原則として親子参加

7～9月 第4土曜日開催

第1回 ロゴマークって何？ 名刺を作ろう。（デザイン制作）

第2回 テキスタイルデザインに挑戦（美術工芸制作）

第3回 宣伝、広告ってなに？ イベント広告づくり（クリエイティブマーケティング）

※内容は一部変更になる場合があります。

※静岡市クリエイター支援センターにて「こどもクリエイティブタウン ま・あ・る」の

「出張“まある”」として開催。

◎クリエイター支援センターでイベント開催

1. 展示・発表

こどもデザイン教室の際に作った作品をブラッシュアップ展示

2. クリエイティブ体験ワークショップ開催

クリエイター支援センター入居クリエイターが広く市民に向けて

クリエイティブ体験ワークショップを開催（大人から子どもまで自由に参加できる内容を検討）

クリエイター支援センターの事務所・アトリエ見学

※ワークショップの際には「こどもクリエイティブタウン ま・あ・る」の“こども店長”がワークショップのアシスタントを務めます。

団体名：おケイコフェスタ実行委員会

6. スケジュール

6月 こどもデザイン教室（ワークショップ）のプログラムを制作

※クリエイター支援センター入居クリエイターに依頼

7月 こどもデザイン教室（ワークショップ）参加者募集チラシの制作

開催の告知（申込&問い合わせ用）ホームページ制作

こどもクリエイティブタウンま・あ・るの広報誌、「まあるんだ」に出張まあるとして

こどもデザイン教室（ワークショップ）の告知掲載

チラシの配布（教育委員会等の協力の下、市内小学校、図書館等に2,000部配布）

開催の告知（申込&問い合わせ用）ホームページ制作

7月 こどもデザイン教室（ワークショップ）の開催

7月26日（土）

第1回 名刺を作ろう。（デザイン制作）

8月 8月29日（土）

第2回 テキスタイルデザインに挑戦（美術工芸制作）

9月 9月27日（土）

第2回 宣伝、広告ってなに？イベント広告づくり（クリエイティブマーケティング）

9月 展示・発表会、クリエイティブ体験ワークショップの告知

10月 展示・発表会、クリエイティブ体験ワークショップ

クリエイター支援センターの事務所・アトリエ見学の開催

11月 報告書やホームページで成果発表

12月 事業終了

※スケジュールについては「静岡市クリエイター支援センター」と「静岡市こどもクリエイティブタウンまある」と調整の上、変更も可能であることを確認しておきます。

団体名：おケイコフェスタ実行委員会

7. 実施体制および主要スタッフの経歴

○南條千晶

おケイコフェスタ実行委員会 代表

(ワークショップのコーディネーター、企画運営)

女性の習い事のとライフスタイルアップのためのイベント「おケイコフェスタ」の運営。

※「おケイコフェスタ」は静岡市の後援で2010年～2013年までに5回開催。

民間の社会人専門学校（ヒューマンアカデミー）でデザイン講師を務める。

○寺田幸恵

ウェブデザイナー（イベントホームページ制作）

○初又 輝

(ワークショップのコーディネーター、企画運営)

平成25年度の静岡県の「未来づくり雇用創出プラン」

「こどものお仕事体験ものづくり事業」の元スタッフ。

団体名：団体名：おケイコフェスタ実行委員会

8. 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績など）

これまで当団体では「おケイコフェスタ」というイベントを通して

20～40代の主婦や女性を対象にしたキャリア支援や

ワークライフバランスの訴求事業を行ってきたが

生涯学習の観点から、さらに世代を超えた社会的課題に取り組んでいきたい。

アートやものづくり、子供（大人の）職業体験を通して地域の経済活性化に貢献していきます。

2013年に静岡市クリエイター支援センターに実行委員会事務所を移設。

静岡市で活躍するクリエイターや工芸作家との出会いの中で、

デザインや工芸、文化芸術分野の敷居を低くしてクリエイターの仕事を知っていただき、カルチャーや生涯学習・仕事体験として広めて、市民の理解を得て行くことが、さらには、クリエイティブ産業の発展に繋がって行けると考え、この事業を企画いたしました。

協働パイロット事業（H26）見積書

団体名： おケイコフェスタ実行委員会

企画のタイトル：こどものクリエイティブ体験ワークショップ事業

項目	金額	説明
謝礼金	60,000 円 40,000 円	講師料金：1回：2万円×3回 体験指導：5000円×8人
人件費	20,000 円	ワークショップサポートスタッフ代金
旅費	10,000 円	打ち合わせ旅費、当日の交通費
消耗品	20,000 円	材料、事務用品代金、印刷トナー代金等
印刷製本費	120,000 円	企画資料等コピー代金 5,000 円 チラシ印刷費 20,000 円 告知チラシ制作・デザイン費 80,000 円 告知物、(広報誌面等) 制作費 15,000 円
通信運搬費	10,000 円	パンフレット・チラシ、郵送、配達、配送料金
使用料及び賃借料	00,000 円	--
雑費	50,000 円	ホームページ制作、管理 30,000 円 看板、展示制作代金、ワークショップ備品 20,000 円
小計 A	330,000 円	
消費税 B = A × 0.08	26,400 円	
合計 A + B	356,400 円	

◎実費弁償契約の希望の有無

有

無

※参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な用途
ワークショップ参加費	30,000 円	ワークショップ1回の材料費 500円×20人×3回